

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅱ①					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2	通年
【授業の目的・ねらい】 現場での対応力を高めることのできる実践的な訓練を中心に授業を進める。それに伴い1年時に習得した基本手技を再確認しながら、処置や活動に対して根拠を持てるようにする。また、JPTEC, PEMECなどの活動を理解し実践し、そのスキルを習得することを目的とする。												
【実務経験者】 ・消防機関に約39年間救急隊として従事し、その後3年間は医療機関にて急患部及びドクターカーの運用などに携わる。 ・病院の救急センターなどで、看護業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコールに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。症候ごとの対応やCPA症例、内因性、外因性などそれぞれに対応できるスキルを身につける。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 外傷、脳卒中、急性冠症候群、内因性疾患、外傷の活動において、学生自身が医学的根拠を持って処置にあたることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
2	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
3	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
4	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
5	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
6	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
7	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
8	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
9	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
10	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
11	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
12	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
13	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
14	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
15	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習										セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機	
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅱ②					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2	通年
【授業の目的・ねらい】 現場での対応力を高めることのできる実践的な訓練を中心に授業を進める。それに伴い1年時に習得した基本手技を再確認しながら、処置や活動に対して根拠を持てるようにする。また、JPTEC、PEMECなどの活動を理解し実践し、そのスキルを習得することを目的とする。												
【実務経験者】 ・消防機関に約39年間救急隊として従事し、その後3年間は医療機関にて急患部及びドクターカーの運用などに携わる。 ・病院の救急センターなどで、看護業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコルに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。症候ごとの対応やCPA症例、内因性、外因性などそれぞれに対応できるスキルを身につける。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 外傷、脳卒中、急性冠症候群、内因性疾患、外傷の活動において、学生自身が医学的根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容									準備物(教材)		
16	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
17	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
18	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
19	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
20	CPA症例隊活動（特定行為：気道確保、静脈路確保、薬剤投与）復習									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
21	特定行為（気管挿管）導入講義									PC&プロジェクター		
22	特定行為（気管挿管）基本手技（喉頭展開&チューブ挿入）									セーブマン・ 気道管理トレーナー 隊長バック		
23	特定行為（気管挿管）基本手技（喉頭展開&チューブ挿入）									セーブマン・ 気道管理トレーナー 隊長バック		
24	特定行為（気管挿管）基本手技（気管吸引）									セーブマン・ 気道管理トレーナー 隊長バック		
25	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
26	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
27	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
28	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
29	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
30	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）									セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機		
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅱ③					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2	通年
【授業の目的・ねらい】 現場での対応力を高めることのできる実践的な訓練を中心に授業を進める。それに伴い1年時に習得した基本手技を再確認しながら、処置や活動に対して根拠を持てるようにする。また、JPTEC、PEMECなどの活動を理解し実践し、そのスキルを習得することを目的とする。												
【実務経験者】 ・消防機関に約39年間救急隊として従事し、その後3年間は医療機関にて急患部及びドクターカーの運用などに携わる。 ・病院の救急センターなどで、看護業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコルに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。症候ごとの対応やCPA症例、内因性、外因性などそれぞれに対応できるスキルを身につける。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 外傷、脳卒中、急性冠症候群、内因性疾患、外傷の活動において、学生自身が医学的根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
31	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
32	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
33	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
34	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
35	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
36	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
37	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
38	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
39	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
40	CPAにおける気管挿管を用いた隊活動～病院搬送まで～ 現場到着から病院到着までの流れ(セカンドコール、医師へ引継ぎ)								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
41	CPA症例における原因検索を含めた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
42	CPA症例における原因検索を含めた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
43	CPA症例における原因検索を含めた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
44	CPA症例における原因検索を含めた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
45	CPA症例における原因検索を含めた隊活動（IC、SAMPLEの情報収集、状況評価、初期評価）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

授業概要

科目名	シミュレーション実習Ⅱ⑤					授業の種類	実習	講師名				
授業回数	135	回	時間数	270	時間	6	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2	通年
【授業の目的・ねらい】 現場での対応力を高めることのできる実践的な訓練を中心に授業を進める。それに伴い1年時に習得した基本手技を再確認しながら、処置や活動に対して根拠を持てるようにする。また、JPTEC、PEMECなどの活動を理解し実践し、そのスキルを習得することを目的とする。												
【実務経験者】 ・消防機関に約39年間救急隊として従事し、その後3年間は医療機関にて急患部及びドクターカーの運用などに携わる。 ・病院の救急センターなどで、看護業務に携わる。												
【授業全体の内容の概要】 基本手技を身に付けたうえで、消防におけるプロトコルに基づいた救急隊の活動をメインにシミュレーションを実施する。症候ごとの対応やCPA症例、内因性、外因性などそれぞれに対応できるスキルを身につける。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 外傷、脳卒中、急性冠症候群、内因性疾患、外傷の活動において、学生自身が医学的根拠を持って処置にあたれることを到達目標とする。傷病者の状態に合わせた、観察・判断・処置・評価を繰り返し行いながら医療機関へ繋げれる救急救命士を目指す。												
回数	講義内容								準備物(教材)			
61	PEMEC（全身観察、重点観察）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
62	PEMEC（全身観察、重点観察）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
63	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
64	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
65	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
66	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
67	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為、車内活動）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
68	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為、車内活動）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
69	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為、車内活動）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
70	PEMEC（評価、ファーストコール、特定行為、車内活動）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
71	PEMEC（症候別隊活動：痙攣）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
72	PEMEC（症候別隊活動：痙攣）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
73	PEMEC（症候別隊活動：頭痛）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
74	PEMEC（症候別隊活動：頭痛）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
75	PEMEC（症候別隊活動：頭痛）								セーブマン・TEC2603 隊長バック・酸素吸入器 吸引機			
【使用教科書・教材・参考書】 救急救命士標準テキスト・救急資器材マニュアル												
【準備学習・時間外学習】												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】												
OSCE試験（履修規定に準じる）												

